



平成27年3月6日
羽田税関支署

羽田空港国際化後、不正薬物の年間押収量過去最多

～平成26年の羽田空港における不正薬物密輸事犯の摘発状況～

- ◎不正薬物の押収量は約55.3kg、摘発件数は20件
- ◎覚醒剤が大半を占め、摘発件数は13件

【トピックス】

◎覚醒剤の押収量が増加

・押収量は約55.3kg、昨年と比較して約1.2倍（昨年約46.8kg）となった。

◎覚醒剤密輸事犯の大口化

・1件あたりの平均押収量は約4.3kg、昨年の約1.4倍（昨年約3.1kg）

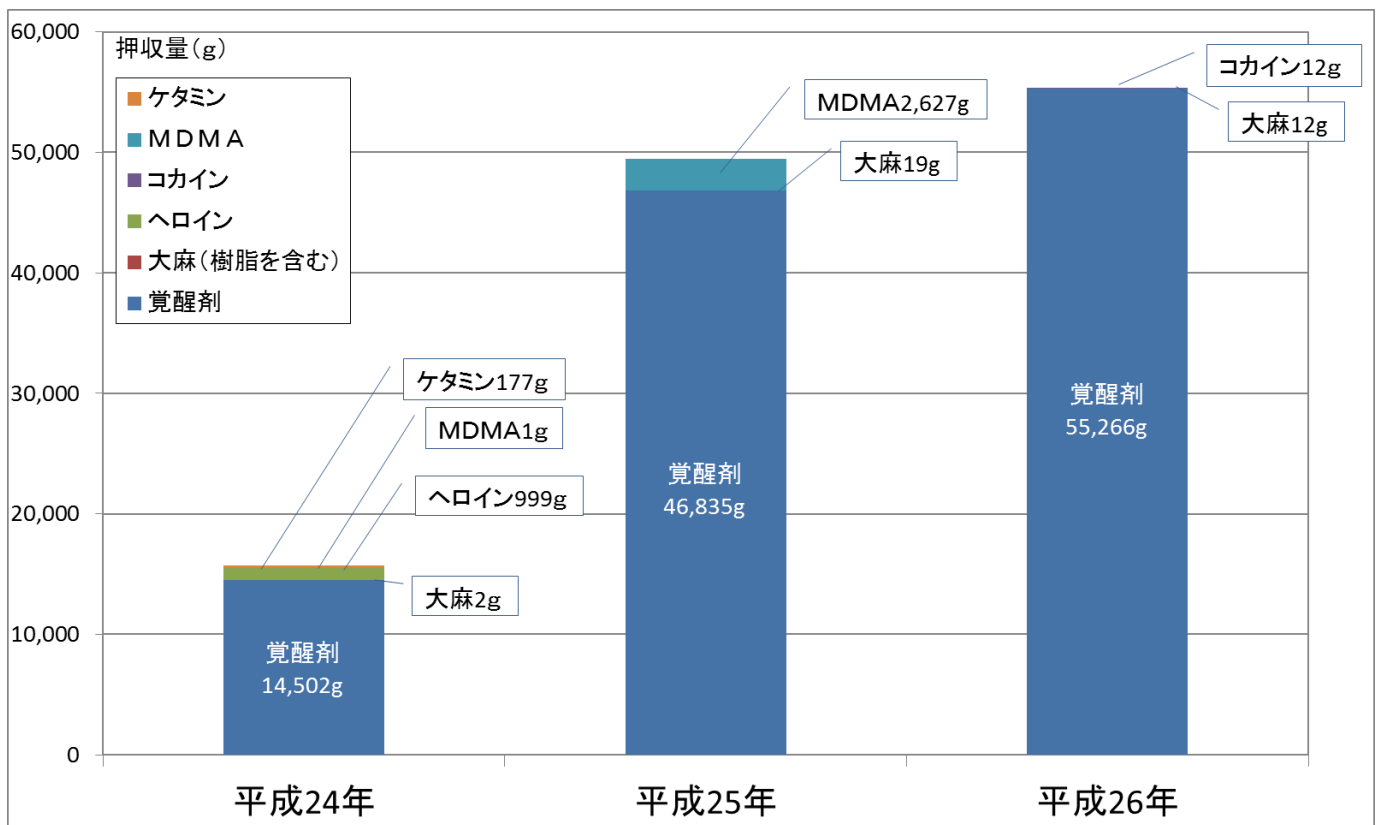
◎中国、香港などアジア来の覚醒剤摘発が増加

・中国、香港、タイなどアジア来が全体の約85%を占めた（昨年80%）。

◎日本人による覚醒剤密輸事犯が増加

・国籍別で見ると日本人によるものが約38%を占めた（昨年約13%）。

不正薬物摘発状況



羽田国際空港における不正薬物摘発状況一覧表

種 類	年 別	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	
					前年比
覚醒剤	件数	6	15	13	86.7%
	数量(g)	14,502	46,835	55,266	118.0%
大 麻	件数	1	3	4	133.3%
	数量(g)	2	19	12	63.2%
(大麻草)	件数		3	2	66.7%
	数量(g)		19	7	38.6%
(大麻樹脂)	件数	1		2	全増
	数量(g)	2		5	全増
麻 薬	件数	5	1	3	300%
	数量(g)	1,177	2,627	12	0.5%
	数量(錠)	50			0.0%
ヘロイン	件数	1			0.0%
	数量(g)	999			0.0%
コカイン	件数			2	全増
	数量(g)			12	全増
MDMA	件数	2	1		0.0%
	数量(g)	1	2,627		0.0%
	数量(錠)	50			0.0%
ケタミン	件数	2		1	全増
	数量(g)	177		0	0.0%
合 計	件数	12	19	20	105.3%
	数量(g)	15,681	49,481	55,290	111.7%
	数量(錠)	50	0	0	0.0%
(参考)使用回数	万回	58	156	184	117.9%

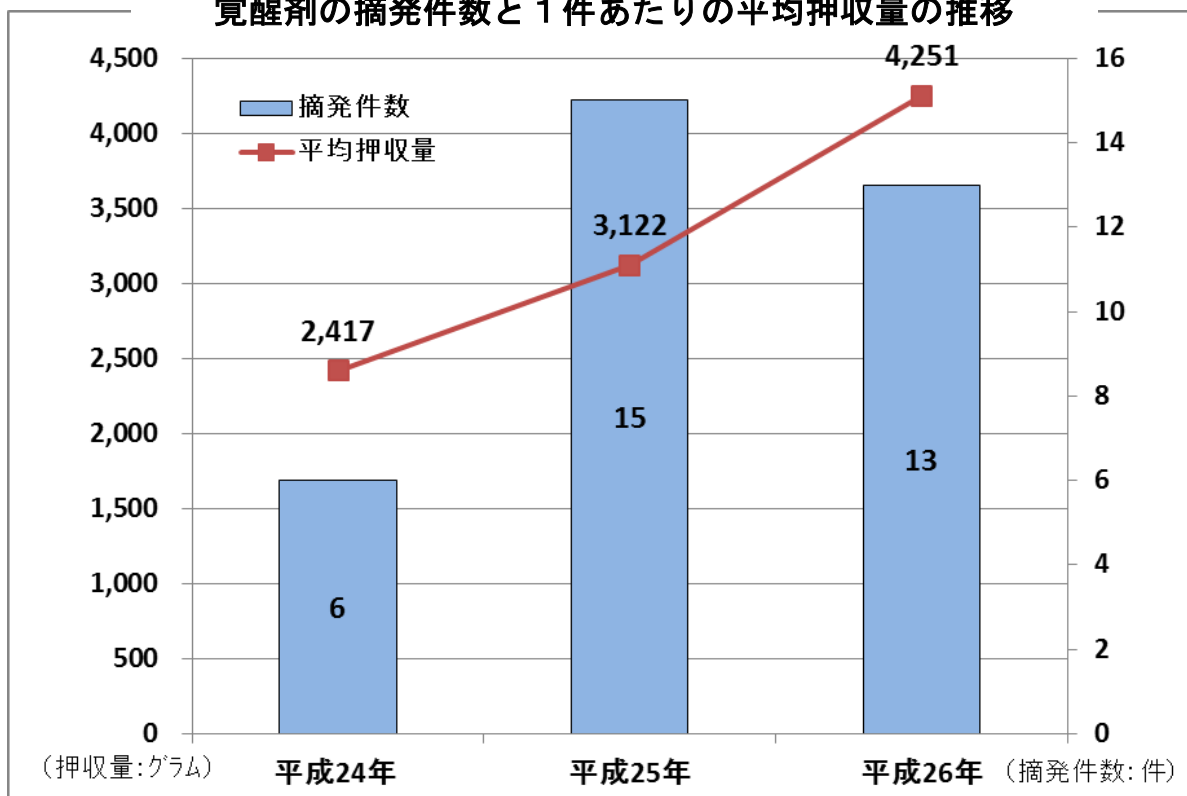
注) 1. 数字は摘発ベース

2. 薬物の数量表記について、「0」とは 0.5g または 0.5 錠未満の場合を示し、小数点以下を端数処理している為、比率や合計値が合わないことがある。

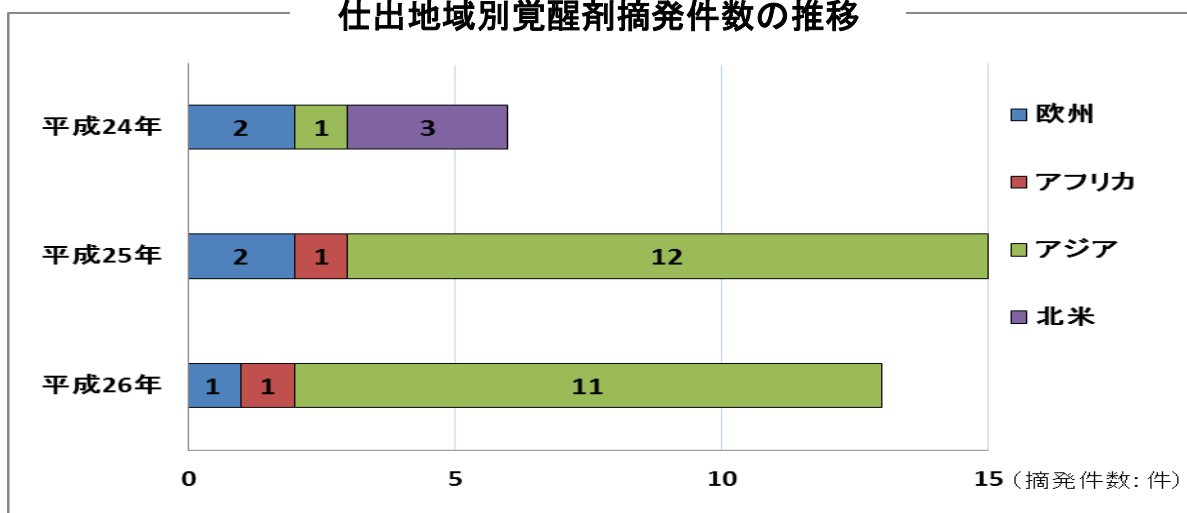
3. (参考) 使用回数は、以下の不正薬物について、乱用者の通常の一回分使用量をもとに換算し、合計したものである。

(覚醒剤:0.03g、大麻草:0.5g、大麻樹脂:0.1g、ヘロイン:0.01g、コカイン:0.03g、MDMA:1 錠)

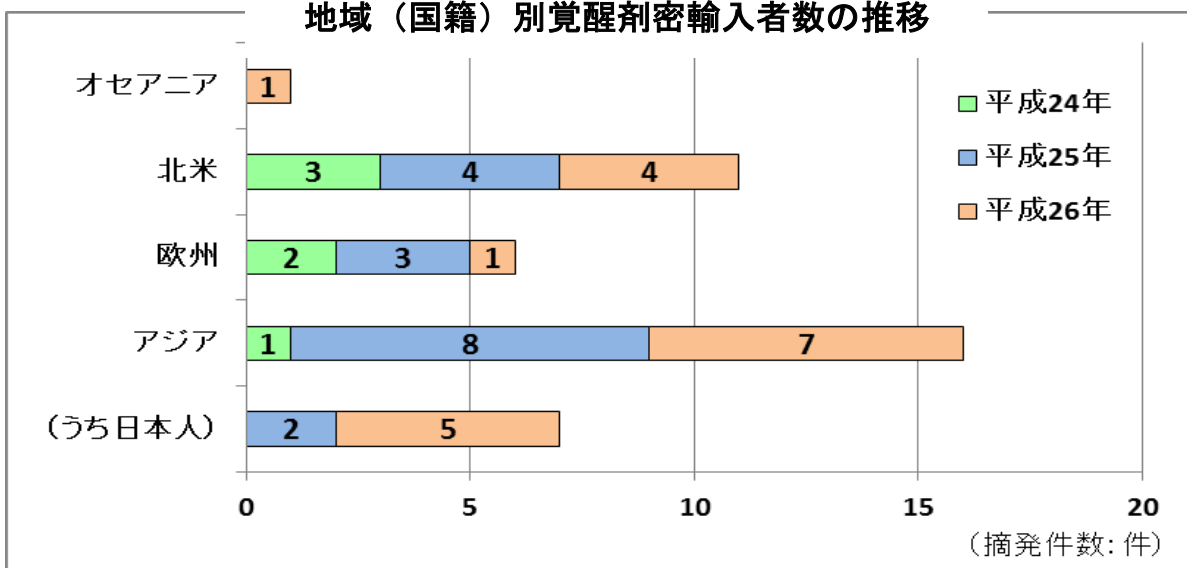
覚醒剤の摘発件数と1件あたりの平均押収量の推移



仕出地域別覚醒剤摘発件数の推移



地域(国籍)別覚醒剤密輸入者数の推移



平成26年の羽田空港における主な不正薬物摘発事例

【事例1】ソフトキャリーケースの型枠に隠匿された覚醒剤を摘発

平成26年2月、中国から入国した日本人男性が携行していたソフトキャリーケース内等に隠匿された**覚醒剤約9.9キログラム**を発見、摘発した。



【事例2】足マッサージ器内等に隠匿された覚醒剤を摘発

平成26年2月、香港から入国したアメリカ人男性が携行していた足マッサージ器内及びマーカークラップ内に隠匿された**覚醒剤約2.8キログラム**を発見、摘発した。



【事例3】クラッチバッグ側面に隠匿された覚醒剤を摘発

平成26年8月、香港から入国したニュージーランド人女性が携帯していたクラッチバッグ内に隠匿された**覚醒剤約1.6キログラム**を発見、摘発した。

